

## 新潟県立図書館の概要

1 目的 県民の教育と文化の発展に寄与する。

2 主な沿革

- ・大正4年4月1日 明治記念新潟県立図書館（寄居町）として創立
- ・昭和28年12月21日 2代目 新館開館（一番掘通町）
- ・平成4年8月7日 3代目 現在地に移転・新築（築後32年）  
（創立109年）

3 施設規模

- ・土地 15,600.00 m<sup>2</sup>（新潟県から借地）
- ・建物 8,891.74 m<sup>2</sup>（施設内他館との共通エリア含む。）（RC造 2階建）

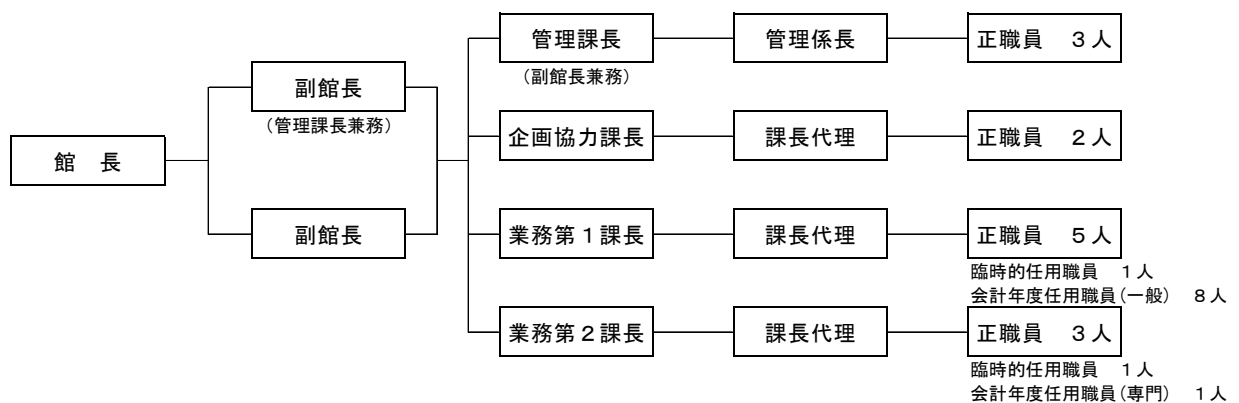
4 蔵書状況 約97万冊（R6.3.31現在）（単位：冊）

一般書	うち洋書	郷土関係	環日本海関係	児童書	AV資料	合計
749,018	9,683	142,146	16,025	54,524	5,402	967,115

5 入館者等の状況（単位：人、冊）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数	414,216	270,741	296,418	297,012	315,342
個人貸出冊数	502,595	401,488	457,894	435,724	416,761

6 組織体系



令和6年4月1日現在 職員合計34人（正職員25人（うち司書19人）正職員以外9人）

7 当初予算額（職員給与費、臨時的な改修費等を除く）（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額 (うち図書館資料購入費)	172,984 (36,506)	167,401 (31,713)	165,641 (31,713)	163,072 (29,398)	161,927 (26,807)
備考 (臨時的な改修費等)	32,032 (冷却塔本体取替)	32,965 (ハロン消火設備更新)	88,297 (冷温水発生機更新)	240,911 (電子書籍整備、 受変電設備更新)	17,455 (電子書籍整備、 子育て応援事業)

## 新潟県立図書館協議会について

### 1 設置根拠

図書館法

新潟県立図書館協議会設置条例

### 2 設置目的

図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べるための機関

### 3 委員の任期

2年間

(今回改選委員については、令和6年8月1日から令和8年7月31日まで)

### 4 会議及び審議事項

会 議：年2回程度開催（例年9月と3月）

審議事項：図書館の運営及び図書館奉仕について

### 5 委員定数及び構成

委員定数：10人

構 成：学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上及び文化の発展に資する活動を行う者並びに学識経験のある者（公募委員を含む。）の中から教育委員会が任命する

## 新潟県立図書館協議会への諮問事項

### 1 新潟県立図書館協議会への諮問事項

館長は、協議会に「新潟県立図書館運営に対する評価」を諮問し、これについて委員の意見を聴取する。

### 2 図書館運営に対する評価

- (1) 平成 20 年の図書館法改正により、「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。(図書館法第 7 条の 3)」と法律に定められたことを受け、評価を実施する。
- (2) 図書館サービスのたゆまぬ向上を図るため、行政評価の手法を取り入れ、当館の業務を Plan (計画)・Do (実施)・Check (評価)・Act (改善) のサイクルの中で評価することで、業務の適正な運営、改善を行う。
- (3) 評価の結果を広く公表することによって、図書館運営に関して県民への理解を深め、利用の促進と連携・協力を図る。

### 3 図書館運営評価の内容

#### (1) 自己評価

重点目標に係る事業評価

ア 運営基本方針に基づく重点目標について、具体的取組に対する指標を設定し、各年度における到達目標値を設定

イ 1～5 の 5 段階で目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するとともに、定量評価を踏まえて、その他の成果や課題等も加味して総合的に評価

(ア) 定量評価

5 = 100% 以上

4 = 90～100%

3 = 80～90%

2 = 70～80%

1 = 70% 未満

(イ) 総合評価

A = 成果を上げている (4.5 以上)

B = 順調に進んでいる (3.5 以上 4.5 未満)

C = 概ね順調に進んでいる (2.5 以上 3.5 未満)

D = 順調に進んでいるとはいえない (1.5 以上 2.5 未満)

E = 事業の見直しが必要 (1.5 未満)

ウ 評価を踏まえ、次年度以降に向けての問題点、改善点及び方向性を検討

#### (2) 外部評価 (協議会意見)

館長は、上記 (1) の自己評価について、図書館協議会に諮問し、協議会はその妥当性等について検討の上、意見を述べる。

#### 4 図書館運営評価のサイクル

年度	月日	協議会	事務局作業
R 5	3月	<b>R 5年度第2回協議会</b> ・ R 5年度評価案の討議 ・ 次期運営基本方針（R 6～8年度）案の討議	
R 6	4月   9月		・ R 6年度事業の実施 ・ R 5評価を県教育委員会に報告 ・ R 5評価の確定及び公表
	9.12	<b>R 6年度第1回協議会</b> ・ R 5年度評価確定の報告 ・ R 6年度の重点目標の進捗状況について討議	
	10月   1月 (予定)		・ R 6年度事業の実施 ・ R 7年度取組事項等の検討
	R 6 2 or 3月 (予定)	<b>R 6年度第2回協議会</b> ・ R 6年度評価案の討議 ・ 運営基本方針に基づくR 7年度の取組について討議	

## 図書館協議会関連法令等

## ○図書館法（抜粋）

（運営の状況に関する評価等）

**第 7 条の 3** 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（図書館協議会）

**第 14 条** 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

**第 15 条** 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

**第 16 条** 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

## ○図書館法施行規則（抜粋）

**第 12 条** 法第 16 条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

## ○新潟県立図書館条例

（設置）

**第 1 条** 図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 10 条の規定に基づき、県民の教育と文化の発展に寄与するため、新潟県立図書館を新潟市中央区女池南 3 丁目に設置する。

（委任）

**第 2 条** 新潟県立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

## ○新潟県立図書館協議会設置条例

**第 1 条** 図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 16 条の規定に基き、新潟県立図書館に図書館協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

**第 2 条** 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上及び文化の発展に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

**第3条** 協議会の委員の定数は10人とする。

**第4条** 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

**第5条** 新潟県教育委員会は、特別の事情があると認めるときは、委員の任期中であっても、解職することができる。

## ○新潟県立図書館協議会運営要綱

**第1条** 新潟県立図書館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関しては、法令に別段の定めのあるものを除く他、この要綱の定めるところによる。

**第2条** 協議会には、委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は、協議会委員の互選とし、任期は、その在任期間とする。

**第3条** 委員長は、協議会を主宰する。副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときその職務を代理する。

**第4条** 協議会は、館長が招集する。館長は、委員3名以上から附議すべき事項を示して協議会の開催を請求されたときは、これを招集しなければならない。

**第5条** 協議会は、年2回これを開く。ただし、必要あるとき随時招集する。

**第6条** 協議会は、必要あるときは、小委員会をつくることができる。

**第7条** 協議会の開催場所、日時及び附議すべき案件は、館長が開催10日前までに通知しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。

**第8条** 協議会に欠席又は遅参する委員は、開催5日前までに、その旨を館長に通知しなければならない。

## 令和5年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価

## 1 評価項目（指標）

## (1) 地域社会への貢献

指標	目標	実績	達成率	評価
ア [行政連携] ギャラリー展示回数	6回	7回	117%	A
イ [行政連携] コーナー展示回数	24回	28回	117%	A
ウ 県庁貸出冊数	120冊	185冊	154%	A
エ 越後佐渡DL デジタル化画像数	1,000点	529点	53%	E
オ 越後佐渡DL アクセス件数	12,000件	23,048件	192%	A
カ 郷土人物/雑誌記事索引DB収録数	2,500件	3,998件	160%	A
キ 郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5,300件	12,104件	228%	A

## (2) 県内図書館への貢献

指標	目標	実績	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	17,000冊	12,538冊	74%	D
イ 訪問等回数（研修以外）	20回	14回	70%	D
ウ 高等学校図書館への協力貸出冊数	200冊	489冊	245%	A
エ 市町村職員向け研修会等参加人数（訪問研修以外）	200人	358人	179%	A
オ 市町村訪問研修回数	10回	10回	100%	A
カ 訪問研修メニュー数	5	4	80%	C

## (3) 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指標	目標	実績	達成率	評価
ア 入館者数	400,000人	315,342人	79%	D
イ 個人貸出冊数	450,000冊	416,761冊	93%	B
ウ レファレンス協同DB登録件数	40件	44件	110%	A
エ SNSへの記事掲載回数	120回	123回	103%	A
オ サピエ資料の貸出冊数	260点	213点	82%	C
カ 職員全体研修会の開催（館内）	2回	1回	50%	E
キ 館内研修における職員の発表回数	10回	0回	0%	E
ク 職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修除く）	平均2回	平均2.3回	113%	A

## 2 図書館協議会による評価

## (1) 協議会の開催

・日時・場所 令和6年3月8日（金）新潟県立図書館・大研修室

## (2) 委員会とりまとめ

(1)における各委員の意見を千錫烈委員長（関東学院大学社会学部教授）がとりまとめ、図書館協議会による評価とした。

# 令和5年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート

## 1 地域社会への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部署とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署へのPR</li> <li>展示の実施</li> <li>「読書お便りコンクール」市町村巡回展示の実施</li> </ul>	ギャラリー展示回数【6回】	<p>前半は県立高等学校や一般県民の利用が中心となった。行政連携展示は主に年度後半に実施した。</p> <p>&lt;実績・予定&gt;</p> <p>①7月 「人を守る」というやりがい (自衛隊新潟地方協力本部)</p> <p>②8月 「ワンヘルス」について (新潟県獣医師会)</p> <p>③12月 「海洋プラスチックごみ」削減に向けたパネル展 (県資源循環推進課資源環境企画係)</p> <p>④1月 「拉致問題を考える巡回パネル展」 (県知事政策局国際課拉致問題調整室)</p> <p>⑤2月 ミニ・生命のメッセージ展/出張ナスバギャラリーが伝える交通安全展 (独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所)</p> <p>⑥2月 ハンセン病パネル展 (県福祉保健部感染症対策・薬務課)</p> <p>⑦3月 にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県農林水産部林政課)</p>	7回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県各部署等との連携により、目標を達成した。次年度以降も行政連携展示により、県施策の県民への周知に取り組む。また、県民利用とのバランスも図りながら、貴重資料展や読書バリアフリー展、新春掛軸展等の所蔵資料展示も引き続き実施し、図書館の魅力発信とギャラリー展示の充実につなげていく。	A	<p>県各部署との連携は達成できており評価できる。</p> <p>拉致やハンセン病等の行政情報や県立図書館で所蔵する資料をギャラリー展示し美術館や博物館的な役割を果たし、関連した図書館の利用拡大につなげていただきたい。</p> <p>県の施策や県立美術館等の施設を県民にPRする場としてのコラボ展示等の図書館利用は効果的である。引続きの実施を望む。</p> <p>今後は回数ありきや貸出冊数ではなく、質の向上を図る取り組みが必要なのではないか。より見られる展示の仕方や内容の工夫、具体的にはSDGsにかかる項目などについて、各部署、課などにコラボを働きかけるなど提案型の企画などもあっているのではないか。</p> <p>ギャラリー展示やコーナー展示は回数での評価となっているが、観覧した人数、どれだけの興味を引いたかなども評価の要因ではないか。</p>
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	コーナー展示回数【24回】	<p>図書のコナー展示に際して展示の様子を撮影した画像や利用状況を連携部署と共有し、双方のSNSやホームページで広報することにより効果的な情報発信に努め、展示図書の利用促進を目指し事業に取り組んだ。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>4月 政策企画課、新潟県発達障がい者支援センターRISE、県立万代島美術館</p> <p>5月 県立歴史博物館</p> <p>6月 総務部行政改革課、県立万代島美術館、新潟県観光協会</p> <p>7月 県立近代美術館、生涯学習推進課</p> <p>8月 県立歴史博物館、食品・流通課</p> <p>9月 障害福祉課、県立万代島美術館、新潟県消費生活センター</p> <p>10月 県立近代美術館、教育庁総務課</p> <p>11月 健康づくり支援課、県立歴史博物館</p> <p>12月 障害福祉課、空港課</p> <p>1月 新潟県消費生活センター</p> <p>2月 県立歴史博物館、健康づくり支援課、新潟県消費生活センター</p>	28回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県施策に関する図書のPR展示について県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、今年度もコンスタントに申込があった。連携先の希望に合わせて展示を実施するよう調整している。今後も図書展示を実施し、県民の課題解決への支援につなげていく。	A	<p>県各部署に図書館が役立つ施設であることの認知向上にも貢献できるので、「県各部署への情報提供の拡大」が達成率150%近い数値なのは大いに評価できる。今後も積極的に行ってほしい。</p>
	県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手続改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	県庁貸出冊数【120冊】	<p>県職員専用ポータルサイトを活用してサービスの周知を実施した。県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の充実を目指し、更なる手続きの簡素化など運用改善を図った。</p>	185冊	達成率154% 評価 (5) 100%以上	県庁貸出サービスについて県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、貸出冊数は順調に推移している。今後も引き続き周知を図りながら、利用増に向けて取り組んでいく。	A	<p>県各部署に図書館が役立つ施設であることの認知向上にも貢献できるので、「県各部署への情報提供の拡大」が達成率150%近い数値なのは大いに評価できる。今後も積極的に行ってほしい。</p>



	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見すえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>		出版情報の収集から資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んだ。閲覧室内では、新潟県にゆかりのある人物や物事をテーマにした展示を月ごとに実施し、郷土資料のPRに努めた。			各種の利用促進策に取り組んだ結果、新聞等で取り上げられた資料等の迅速な提供につながり、郷土資料の貸出冊数は昨年同期を上回った。引き続き利用促進に取り組んでいく。		県の行政資料、例えば白書・統計等がデジタル化されたりしているが、その資料は提供され保存されているのか。また行政にかかる資料で貴重なものもあるが、廃棄されているものも多いのが現状である。積極的に行政に資料提供を求めているか。
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	デジタル化画像数【1,000点】	今年度は3機関から参加申し込みがあり、11月、12月に各施設に訪問し撮影を行った。撮影画像は3月までにデジタルライブラリーに追加、公開する予定である。	529点 (画像数)  (撮影資料点数34)	達成率53%  評価(1) 70%未満	撮影対象の大半が書籍ではなく掛け軸などの一枚ものの資料であったことから、撮影資料数に比べ、画像数の方が目標値を大きく下回ることとなった。	E	越後佐渡デジタルライブラリーについて撮影点数は図書でなく地図や掛図等の1点ものが多いためE評価であるのは仕方がないものであり許容されるものである。  デジタル資料数が増えることは利用者にとってありがたい。
			アクセス件数【12,000件】	ホームページの更新に際して、デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。デジタルライブラリーのトップ画面において、デジタル化資料を様々な切り口で紹介し、PRに努めている。	23,048件	達成率192%  評価(5) 100%以上	デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標値を大きく上回った。一方でデジタルライブラリートップ画面への訪問数は減少していることから、魅力的なページとなるよう引き続き検討を重ねていく。	A	越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス数は目標値を大幅に更新しており、テーマ展示やデータベース活用事例など気軽に楽しめるコンテンツも提供されており、今後もコンテンツの充実をしていただきたい。  利用者と新潟県立図書館をつなぎ合わせるホームページの存在は実に大きい。そのような観点から、「デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタン」や「郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタン」を、トップページに設けたことは意義深い。更なるホームページの充実を期待する。  デジタル資料の利用の仕方も使いやすくなるように考慮してほしい。
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引、郷土雑誌記事索引のいずれも採録資料を選定し、データ登録を行った。3月に当館ホームページ上において公開する予定である。	3,998件	達成率160%  評価(5) 100%以上	目標を超える件数を登録することができた。今後も登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A	
			アクセス件数【5,300件】	ホームページの更新に際して、郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。10月には、「としょかん探偵 データベース活用事例」のページを新設し、第1弾として土田麦僊の検索例を公開し、PRを図った。	12,104件	達成率228%  評価(5) 100%以上	郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標を大きく上回った。引き続き活用事例を紹介するなど、コンテンツの質の向上を目指していきたい。	A	越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス数は目標値を大幅に更新しており、テーマ展示やデータベース活用事例など気軽に楽しめるコンテンツも提供されており、今後もコンテンツの充実をしていただきたい。(再掲)  利用者と新潟県立図書館をつなぎ合わせるホームページの存在は実に大きい。そのような観点から、「デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタン」や「郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタン」を、トップページに設けたことは意義深い。更なるホームページの充実を期待する。(再掲)

2 県内図書館への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上) 、 B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満) 、 C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満) 、 D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満) 、 E=事業の見直しが必要 (1.5未満) )

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>展示用コレクションの貸出</li> </ul>	協力貸出冊数【17,000冊】	従来での制度での協力貸出に加え、市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行った。電子書籍サービスの体験会では、基本的な図書館サービスを説明する場面も多いことから、県民に対して相互貸借についても積極的にPRを行った。	12,538冊	達成率74% 評価 (2) 70~80%	活用例の提示等によってテーマ別図書セット貸出サービスの利用増につながったり、電子書籍サービスの体験会にて無料で県立図書館の資料が取り寄せできることのPRを行い利用増につながった部分もあったが、小規模図書館等向けのセット図書の鮮度が落ちており、利用が伸びなかった。	D	<p>「県内図書館等への協力貸出の充実」がD評価であり未達成であったが、自己評価にもあるように、セット貸の図書を最新の図書に入れ替えるなどの方策も必要だと考える。そのためには資料費の予算確保が前提となるため、資料費増額の要望を引き続き行っていく必要がある。</p> <p>セット貸は利用していない図書館も多いと思われるので、例えば実際に利用した図書館の事例紹介をするなどPR策も今後は必要になっていくと考える。</p> <p>協力貸出冊数については絶対数が少ないと思われるので、なぜ少ないのかを検討し疎外原因の解消に努められたい。</p> <p>D評価となっている項目 (協力貸し出しなど) は、理由がわかっているようなので、改善に努めてほしい。</p>
	県内図書館等への訪問の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村図書館等への訪問相談</li> <li>高等学校への訪問相談</li> <li>相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施</li> </ul>	訪問等回数 (研修以外)【20回以上】	<p>訪問により、以下の相談等を行った。</p> <p>&lt;市町村実績&gt;</p> <p>①5月 長岡市立中央図書館 (オンライン相談) 図書館システム</p> <p>②6月 新発田市立中央図書館 (訪問相談) 子ども読書計画等</p> <p>③7月 刈羽村立図書館 (訪問相談) YAサービス等</p> <p>④9月 聖籠町立図書館 (訪問相談) 選書等</p> <p>⑤1月 魚沼市立図書館 (オンライン相談) 新館計画</p> <p>⑥2月 田上町地域学習センター (訪問相談) イベント企画等</p> <p>⑦2月 新発田市立図書館読み聞かせボランティア研修会 (講師派遣)</p> <p>⑧3月 弥彦村図書館 (訪問相談) 業務分担等</p> <p>&lt;高等学校&gt;</p> <p>①11月 阿賀黎明高校図書館 (訪問相談) 蔵書点検等</p> <p>②11月 東新潟地区司書連絡会 (訪問相談) 郷土資料等</p> <p>③12月 長岡農業高校図書館 (訪問相談) 蔵書管理等</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>①7月 新潟市立・新潟大学・県立図書館相互協力担当者会議</p> <p>②10月 新潟県学校図書館研究大会十日町中魚沼大会 (指導者派遣)</p> <p>③11月 新潟県視覚障害者情報センター事業推進懇談会</p>	14回	達成率70% 評価 (2) 70~80%	市町村図書館等からの訪問要望が例年より少なかったこともあり、目標回数を下回る結果となった。次年度以降は更にオンラインの活用を進めて、各館が相談しやすい環境を整えるとともに、引き続き各館の状況に合わせた支援を行い、県内図書館サービスの向上を図っていきたい。	D	<p>「県内図書館等への訪問の充実」は未達であるが先方の依頼によるところも大きく必ずしも県立図書館主導で行えるものではないので、仕方ないといえる。例えば、依頼がなくとも年間を通じて県内市町村の図書館を定期訪問巡回するなどのプッシュ型のサービスなども検討していただきたい。</p> <p>D評価となっている項目は、理由がわかっているようなので、改善に努めてほしい。(再掲)</p> <p>オンライン利用等、新しい技術を駆使して頑張ってください。</p>
	県立高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校への訪問相談</li> <li>協力貸出の推進</li> <li>連携事業の実施</li> </ul>	高等学校協力貸出冊数【200冊】	県立学校が当館ホームページ上で操作して、直接資料を予約できるように、システム変更を行った。サービス運用についても、貸出期間の見直しやサービス対象の拡大等の改定を行って、利便性の向上を図った。	489冊	達成率245% 評価 (5) 100%以上	県立学校向けの広報・物流システムの改善により利用は伸びている。今後もPRに努め貸出実績を伸ばしていきたい。	A	県立高校への支援もシステム更新や物流体制の整備などの努力によりA評価となっており図書館職員の方々の努力が成果となっていると言えよう。セット貸の充実などさらなる展開を期待したい。

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修等の実施</li> <li>・オンライン研修</li> <li>・訪問研修の実施</li> <li>・訪問研修メニューの改善</li> <li>・参考となる図書の紹介・貸出</li> </ul>	研修会等参加人数（訪問研修以外）【200人】	<p>視覚障害者サービス研修や総合部門研究集会は、より多くの参加が得られるようオンラインを活用して実施した。児童部門研究集会や中堅・専門研修は、職員講師との調整を踏まえてテーマに合った集合型で開催した。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①公共図書館新任職員研修会（初日会場23人・オンライン24人、2日目会場25人・オンライン15人）計87人</p> <p>②第1回視覚障害者サービス研修・基礎編 45人（オンライン）</p> <p>③公共図書館児童部門研究集会「読みたい気持ちにさせるブックトークの基本と実践」30人</p> <p>④公共図書館中堅職員研修「人をひきつける図書館の空間づくり」34人</p> <p>⑤公共図書館総合部門研究集会「図書館とまちづくり」47人（オンライン）</p> <p>⑥第2回視覚障害者サービス研修・サピエ・読書支援機器等紹介編 39人（オンライン）</p> <p>⑦第3回視覚障害者サービス研修・コミュニケーション実践編 44人（オンライン）</p> <p>⑧公共図書館専門職員研修会「図書館における危機管理」 32人</p>	358人	<p>達成率179%</p> <p>評価（5） 100%以上</p>	<p>視覚障害者サービス研修を個別訪問型からオンラインに改めた効果もあり、目標を大きく上回った。</p> <p>次年度以降も、研修テーマ等を踏まえながらオンラインも活用しつつ研修内容の充実を図り、県内図書館サービスの向上につなげていきたい。</p>	A	<p>「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。</p> <p>読書バリアフリー法制定に伴い視覚障害者情報センターと県立図書館が連携して実施している視覚障害者サービスのための、県内各地域の公立図書館向けの研修を今年度も予定通り3回実施することができた。新潟県内唯一の視覚障害者情報施設で、広い県域をひとつでカバーすることはできないことから、目の不自由な方が住みなれた地域において、音声による図書サービス等を受けられることが望ましく、地域の図書館の役割も大きくなっている。地元の図書館でいつでも対面朗読を受けたいという声があるので、県立図書館で再開した対面朗読の地域への普及を働きかけていただきたい。</p>
			市町村訪問研修回数【10回以上】	<p>以下の研修を実施し、県内図書館の人材育成を図った。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①資料の修理や保存の基礎（弥彦村公民館図書室）</p> <p>②レファレンス研修・初級編（長岡市立中央図書館）</p> <p>③資料修理や保存の基礎（五泉市立図書館）</p> <p>④レファレンス研修・初級編（十日町図書館）</p> <p>⑤資料修理や保存の基礎（村上市立中央図書館）</p> <p>⑥レファレンス研修・初級編（弥彦村立図書館）</p> <p>⑦レファレンス研修・郷土レファレンス編（長岡市立中央図書館）</p> <p>⑧資料修理や保存の基礎（南魚沼市図書館）</p> <p>⑨資料修理や保存の基礎（十日町図書館）</p> <p>⑩レファレンス研修・郷土レファレンス編（新潟市立豊栄図書館）</p>	10回	<p>達成率100%</p> <p>評価（5） 100%以上</p>	<p>当初目標を達成した。</p> <p>アンケートを踏まえて各研修を準備・実施したことにより、各館の参加者から好評を得た。</p> <p>今後も、事前・事後アンケートや意見交換等での要望等を踏まえて、より充実した内容の研修を実施できるよう取り組んでいく。</p>	A	<p>「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。（再掲）</p> <p>県内図書館の実情が分からないので何ともいえないが基礎・初級というものが目立つ気がする。基礎や初級レベルの研修で充分なのか。</p>
			訪問研修メニュー数【5】	<p>県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修をオンラインで実施したため、訪問メニュー数としては減少する結果となった。</p> <p>一方で、新たに下半期から、地域資料に関する研修をメニューに加えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス研修（初級編）</li> <li>・レファレンス研修（郷土編）</li> <li>・地域資料の収集と管理の基礎</li> <li>・資料の修理や保存の基礎</li> </ul>	4	<p>達成率80%</p> <p>評価（3） 80～90%</p>	<p>訪問セミナーの内容を再構築して充実を図り、郷土資料に関する研修として新しくメニューに加えることにより、市町村図書館支援の充実を図った。</p> <p>次年度以降は、メニュー数の増加にとらわれることなく、既存の研修内容の充実・向上を図っていきたい。</p>	C	<p>「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。（再掲）メニュー数についても県内図書館のニーズに合う4つのメニューが提示されており未達であるが十分に評価できる内容といえる。</p> <p>県内図書館の実情が分からないので何ともいえないが基礎・初級というものが目立つ気がする。基礎や初級レベルの研修で充分なのか。（再掲）</p> <p>オンライン利用等、新しい技術を駆使して頑張っていたいただきたい。（再掲）</p>

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上) 、 B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満) 、 C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満) 、 D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満) 、 E=事業の見直しが必要 (1.5未満) )

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	利用サービスの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・ 調査相談 (レファレンス) 機能の向上</li> <li>・ SNSによる情報発信</li> </ul>	入館者数 <b>【40万人】</b> <small>※コロナ禍の影響を考慮</small>	SNSでの情報発信の更新頻度を上げるとともに、電子書籍サービスの利用をきっかけに直接来館利用にもつながるように体験会では図書館サービスについて全般的に説明を行った。 4月から感染症拡大防止のため制限していた館内設備の利用再開を広報して目標の達成を目指したが、厳しい状況である。	315,342人	達成率79% 評価 (2) 70~80%	5類に移行したとはいえ感染症が発生し続けている状況ではあったが、入館者数は昨年度に比べて18,669人増加した。 電子書籍サービスやオンラインの利用登録など非来館型のサービスを展開していることを考慮すると、目標値の見直しが必要ではないかと考える。	D	入館者数は目標と79%だが貸出冊数は92%と目標値に近い値になっている。これは、1人あたりの貸出冊数が増えているのか、それとも館内閲覧のみの利用者が減ったためなのかといった分析をしていただき、対応策を検討していただきたい。  電子書籍サービスの導入も始まり利用させてもらっているが、引き続きPRを行い、若い世代や遠隔地の利用者の増加やサービスの充実につなげてもらいたい。
			貸出冊数 <b>【45万冊】</b> <small>※コロナ禍の影響を考慮</small>	資料費の削減に対応しながら令和5年度も引き続き効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や県各所属との連携展示を積極的に行い、資料の利用促進を図った。 併せて書架内展示や資料の見せ方の工夫など、魅力ある棚づくりに努めた。	416,761冊	達成率93% 評価 (4) 90~100%	資料収集方針に沿って、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに展示等による資料のPRを行っているが、資料費削減の影響はカバーしきれなかった。 今後も可能な限り展示のテーマや見せ方を工夫して所蔵資料の有効活用を図っていききたい。また電子書籍の活用促進にも注力していきたい。	B	資料費削減の影響で雑誌コーナーでは「購入を中止しました」という張り紙が多く見られた、やむを得ないと思われるが、利用者に配慮した対応をお願いしたい。  入館者数、貸出冊数など現在の社会情勢 (電子化等) を考えての評価をし、それに応じた工夫を重ねていく必要があると思う。  図書館に足を運ばない県民の目も、向くようにしてほしい。
			レファレンス協同データベース登録件数 <b>【40件】</b>	利用者から寄せられた調査相談内容から、主に郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動を支援すると思われる事例や関心が高いと思われる事例を選定して登録している。 今年度は調べ方マニュアルも登録した。	44件	達成率110% 評価 (5) 100%以上	作業に遅れがみられるが、目標は達成する見込みである。 今年度は調べ方マニュアルも2件登録する予定である。	A	
			SNSへの記事掲載回数 <b>【120回】</b>	電子書籍サービスのPRやお勧め本の案内、図書館周辺の景色や自然の移り変わり等を随時発信し、来館利用につなげるように取り組んだ。	123回	達成率103% 評価 (5) 100%以上	当初目標を達成した。 次年度以降も、若年層にも図書館を身近に感じてもらう、来館利用につながるような、SNSの特性を活かした情報発信に取り組んでいきたい。	A	今の時代、SNSでの各種情報発信が効果的であり、読書離れの若者向けの発信を積極的に行ってもらいたい。  せっかくのXのポスト、HPのトップページに最新の記事がいくつか反映されるようにしてほしい。
読書に困難のある県民へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新コーナー設置と資料の充実</li> <li>・ 利用者のニーズに合ったサービスの提供</li> <li>・ サビエ等サービスのPR</li> </ul>	サビエ資料の貸出冊数 <b>【260点】</b>	視覚障害者情報センターと連携し実施している「視覚障害者サービス研修」 (市町村図書館職員向けの研修) にて、サビエ活用の呼びかけを行った。 電子書籍サービス開始に併せて行っている体験会において、サビエのPRも行った。	213点	達成率82% 評価 (3) 80~90%	電子書籍サービス体験会で利用者の状況を伺いながら説明を行った結果、サビエサービスの利用につながった事例が発生した。 今後もPRを強化していく。 初の対面朗読サービスの利用が発生し、継続利用いただいている。	C	サビエ資料の貸出冊数が未達だが利用者次第の部分があり、図書館側がコントロールできない側面があり、致し方ないと考える。しかし、電子書籍サービスからサビエサービスの利用につながった事例もあり、引き続きPRを続けていただきたい。	
子どもや若い世代の読書推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ対応を踏まえた子ども向けイベントの再開</li> <li>・ 高等学校への協力貸出 (再掲)</li> </ul>		こども図書室は4月から入室人数制限を解除した。換気等の感染症対策は継続して実施している。 毎週金曜日に行っているミニイベントは4月から参加者数を制限せずに実施した。 県立学校が当館ホームページ上で操作して、直接資料を予約できるように、システム変更を行った。サービス運用についても改定を行って利便性向上を図った。(再掲)			基本的な感染症対策を踏まえつつ、こども向けイベントの完全再開を目指した結果、ボランティア活動は概ね再開することができた。 これからもこどもの読書活動普及に取り組んでいきたい。			

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の育成	職員の研修機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加しやすい環境の整備</li> <li>・研修成果の共有と自己研鑽</li> </ul>	職員全体研修会の開催【2回】	6月蔵書点検休館日に2部構成で全体研修を実施した。1部は外部から講師を招き、2部は職員が講師となった。年末年始休館日（1月4日）にも「聴覚障害者とのコミュニケーション方法」についての研修を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。 <実績> ・6月 第1部：救命入門講習 第2部：電子書籍サービス研修	1回	達成率50% 評価（1） 70%未満	蔵書点検による休館期間中は全員参加が可能であるため、2部構成で全体研修を実施した。下半期の研修を年末年始休館日（1月4日）に予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。次年度以降も当館職員の能力向上につながるような研修会を実施する。	E	<p>「職員の研修機会の充実」についても国社研の図書館司書専門講座をはじめ様々な研修に職員が参加しており、評価できる内容である。県立図書館が引き続き直営となった要素の1つに図書館職員の専門性が挙げられていたが、引き続き県内図書館の支援を行うためには図書館員の継続した資質向上が必須であり、今後も充実した研修機会を設けてほしい。</p> <p>職員の皆様の更なるスキルアップのための職員研修については、オンライン開催が非常に効果的であり、更なる職員の参加機会の増をお願いしたい。</p> <p>職員の研修については、引き続きオンラインなども利用して充実して欲しい。また他県図書館への視察等交流も充実してほしい。</p>
			館内研修における職員の発表回数【10回】	上半期はオンライン研修等を活用することで、より多くの職員の受講につなげた。1月に研修内容を発表する伝達研修会を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。	0回	達成率0% 評価（1） 70%未満	12月までは研修成果の発表につながる研修の受講に努めた。1月に研修内容を発表する伝達研修会を予定していたが、能登半島地震に伴う復旧作業を優先することとし、研修会は中止した。次年度以降は、伝達研修を単発で開催することとし、研修機会を確保するようにしたい。	E	
			職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修を除く）【平均2回】	オンラインでの研修環境の整備と受講機会の確保を図り、実績につなげた。 <実績> ・「伝わる広報」研修1名 ・広報スキルパワーアップ研修1名 ・障害者サービス担当職員養成講座（初級）1名(オンライン) ・児童サービス実践研修（館内研修）5名 ・図書館司書専門講座（国社研）1名 ・関東地区公共図書館協議会研究発表大会3名（集合、オンライン） ・2023年度サビエ研修会(オンライン)1名 ・新潟県公共図書館児童部門研究集会1名 ・「図書館等公衆送信サービス」説明会(オンライン)3名 ・生成AIの業務利用に関する説明会1名 ・特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」1名(オンデマンド) ・デジタルアーカイブフェス2023 1名(オンライン) ・Maruzen eBook Library公共図書館向け紹介ウェビナー1名(オンライン) ・生成AI時代の出版と図書館に期待される役割の変化 2名(オンライン) ・書店・図書館等関係者における対話の場 1名(オンライン) ・北陸地区公共図書館職員研修会2名(オンライン) ・県内公共図書館中堅職員研修会1名 ・図書館総合展「図書館員向けが」対策セミナー基礎編 1名(アカイブ) ・県内公共図書館総合部門研究集会「図書館とまちづくり」2名(オンライン) ・改正障害者差別解消法に係る事業者向け説明会2名(オンライン) ・関東甲信越・静地区図書館地区別研修1名 ・国立国会図書館レファレンス研修「人文情報の調べ方」1名(オンライン) ・社会教育施設の整備・運営等に関するセミナー1名(オンライン) ・全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門（長野市）1名 ・京都図書館大会「デジタル社会と図書館 電子書籍サービスから考える」2名(アカイブ) ・特別研修「DXの推進により変化する社会のゆくえ」1名(オンライン) ・国立国会図書館遠隔研修「NCR2018年版のポイント」1名(アカイブ) 国立国会図書館第34回保存フォーラム2名(オンライン) レファレンス協同データベース事業フォーラム2名(オンライン)	平均 2.3回	達成率113% 評価（5） 100%以上	オンラインの活用により、全国規模の研修等への参加機会が格段に得やすくなったこともあり、目標を達成した。次年度以降も引き続き参加機会を確保して、当館職員の能力向上につながる研修の参加機会を確保するよう努めていきたい。	A	

## 令和5年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画 に係る意見

### 1 地域社会への貢献 全体（今後の取組を含む。）への意見

- ・ほぼすべての項目において成果を上げており、素晴らしい。引き続き取り組んでいただけたらと思う。
- ・県の行政施策と連携した取り組みについては、各項目とも総合評価は概ね妥当と思われる。
- ・文化遺産としての郷土資料の収集・保存・活用については、各項目とも概ね妥当と思われる。
- ・望まれる図書館・行きたくなる図書館をテーマに若い世代から高齢者までが聞いて楽しい講演やワークショップを開催し多くの意見をもらってはどうか。
- ・職員だけではなく広く支えてくれるボランティア学芸員の育成をしてはどうか。
- ・保育室が出来るのであれば、親御さん向け講座の拡充を希望する。
- ・たくさんの取組をされているが、一般に認知されていないのが残念である。

### 2 県内図書館への貢献 全体（今後の取組を含む。）への意見

- ・D評価もあるが、職員の努力だけでは結果につながらない指標もあり、やむを得ない部分もあると思う。
- ・県内図書館等が実施するサービスへの支援については、概ね妥当と思われる。
- ・県内図書館等職員の人材育成については、目標回数等から見れば概ね妥当と思われる。
- ・県内図書館が、何を求め、何に困っているか等のアンケートを実施して、結果をまとめてはどうか。その先に更なる県内図書館へのより具体的な貢献が見えてくると感じる。とりわけ、困り感への貢献は、重要度が高いと思われる。
- ・毎日の業務と並行しての取組は大変と思う。無理せず取組んでほしい。

### 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献 全体（今後の取組を含む。）への意見

- ・協議会でも何回か話題になったが、図書館へのアクセス改善策（例：直通バスの運行）なども、中長期的な検討課題として考えてほしい。
- ・A評価以外の項目も多いのだが、職員の努力だけでは結果につながらない指標もあり、やむを得ない事情もあると考えられる。
- ・県民の読書環境の整備については、目標数値から見れば概ね妥当と思われる。ただ、環境整備というのであれば、一番の目標は蔵書の充実などであるように思う。
- ・県立図書館員の能力の育成については、目標数値から見れば妥当と思われる。司書等の人事がどうあるのかや、自己研鑽を積む機会があるのかは知らないが、他県や他図書館との人事交流などあれば成長の機会もできるような気がする。たんなる司書としての能力は早いうちに頭打ちするのではないか。

## 新潟県立図書館運営全体に対する意見

- ・運営についての意見は特にはないが、評価（元になるのは基本方針か）については項目が多すぎるのではないかと感じる。あまり多いと、職員にとってプレッシャーになってしまうのではないかと気になる。もう少し項目を絞って、シンプルなものにしてもいいのではないか。
- ・目標は全て数値でしめされているが、サービス施設としては顧客満足度が重要なのではないかと。顧客満足度という質的目標があってもいいのではないかと思う。県立図書館としての機能は維持・向上を図りつつ、アンケート調査、利用者委員会の設置等により、利用者の満足度、要望に応える努力が必要ではないか。
- ・指定管理者制度の話も、以前あったようだが、文化施設としての役割と、合理化はどうしても相いれないところがあるため、この度も体制見直しがあるようだが、見直しをする場合には、合理化に偏らないほうが良いと思う。
- ・自然環境も良く、近くに県立自然科学館など親子で楽しめる場所もある。図書館が子どもや親にとって身近な場所になってもらいたいと思う。そのためにも、図書館を中心とした街マップの作製を望む。職員だけでなく大学生や高校生も一緒に作成することで、若い世代がより身近な図書館を感じてもらえるのだと思う。
- ・託児ルームの整備と併せて、こども連れが利用するトイレの整備もしてほしい。
- ・一般の利用者を増やすために、図書館に足を運んでいない人が目を止めるようなイベントも開催していただきたいと思う。
- ・県立図書館には無料駐車場と公園、ホールがあるのが強みだと思う。読書週間に「図書館祭」を催し、エントランス・もしくは研修室で一箱古本市やフリーマーケットを募る。ホールでも「朗読」「演劇」「演奏」など。演者には好きな本を一冊、宣言してもらおうのが参加資格…とか。読書に救われる人もいると思う。
- ・コロナ禍の影響が残っていることと地震の影響もあったこともあり仕方ない面があるが、自己評価の基準が厳しいように思った。

## 委員長によるまとめ

Covid-19 が5類に移行し、コロナ禍以前のサービスに戻りつつあるが、感染対策等も行いながら様々な取り組みを遂行している図書館職員の尽力した結果が評価に表れていると考える。

しかしながら、上記に記載されているように委員から図書館の取り組みに関する新しい提案や改善の意見がでており、これらについても今後の実施に向けて検討を行っていただきたい。

引き続き、県民への読書支援、県内図書館への支援、県各部局との連携、研修などの職員の資質向上を継続して取り組んでほしい。

## 新潟県立図書館運営基本方針（令和6年度～令和8年度）

## 1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

## ○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県所属への図書貸出の実施

## ○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・新潟県関係資料の積極的収集と活用
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引DBの充実

## 2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

## ○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等からの相談対応
- ・高等学校図書館への支援

## ○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の全体研修の実施
- ・県内図書館等職員対象の個別研修の実施

## 3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

## ○県民の読書環境の整備

- ・県民の読書環境の整備
- ・県民の調査研究活動の支援
- ・読書による子育て応援
- ・SNSによる情報発信

## ○県立図書館職員の能力の育成

- ・職員の研修機会の充実



## 新潟県立図書館運営基本方針(令和6年度～令和8年度)

<b>基本方針1 地域社会への貢献</b>	地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。
-----------------------	------------------------------------

### 重点目標 1 県の行政施策と連携した取組

No.	具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
1	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	県立図書館を利用した所属数	/	7所属	32所属	34所属	36所属	○ 展示についてはスペースや期間等の制約があるため現状維持とするが、図書貸出についてはPRを強化して利用増を目指す。
2	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置			14所属				
3	県所属への図書貸出の実施			14所属				

※90所属のうち、30所属が利用

### 重点目標 2 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

No.	具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	
4	新潟県関係資料の積極的収集と活用	/	/	/	/	/	/	/
5	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	12,000件	③10,434件 ④10,907件 ⑤23,280件 ※令和5年度はシステム更新に伴いカウント方法が変更	23,500件	23,750件	24,000件	○ 事業開始から現在までに蓄積したデータの利活用に重点を置いて取り組んでいく。 ○ 定期的な利用を促すためのコンテンツとして、特定の資料にスポットを当てて紹介するコーナーを展開する等、親しみやすいページ作りに取り組むとともに、現在公開している情報についても内容のさらなる充実を図り、利用の増加に繋げる。
6	郷土人物/雑誌記事索引DBの充実	郷土人物/雑誌記事索引DBアクセス件数	5300件	③3,928件 ④4,442件 ⑤12,400件 ※令和5年度はシステム更新に伴いカウント方法が変更	12,600件	12,800件	13,000件	○ 引き続きデータの集積に取り組みスケールメリットを追求するとともに、新規データの公開時にはSNSを活用した広報を展開しアクセス件数の増加を目指す。 ○ 郷土に関する調査研究活動に有効なデータベースであることをPRし定期的な利用者の増加に繋げる。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

## 基本方針2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

### 重点目標 3 県内図書館等が実施するサービスへの支援

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
7 県内図書館等の貸出サービスへの支援	県内図書館等への協力貸出冊数	17,000冊	③15,018冊 ④14,362冊 ⑤12,713冊	13,000冊	13,000冊	13,000冊	○ 資料費の削減により、購入資料点数が減少し、小規模図書館等セット図書の買い替えができないなど、厳しい状況である。手続きの簡便化や広報を強化することで、利用の継続を図る。
8 県内図書館等からの相談対応							
9 高等学校図書館への支援	高等学校図書館への協力貸出冊数	200冊	③108冊 ④442冊 ⑤487冊	500冊	500冊	500冊	○ 電子書籍の利用促進と共に、紙媒体の資料の貸出についても手続きの簡便化や広報を強化することで利用の継続を目指す。

### 重点目標 4 県内図書館等職員の人材育成

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
10 県内図書館等職員対象の全体研修の実施	全体研修会・研究集会の参加人数	200人	③188人 ④295人 ⑤347人	350人	350人	350人	○ 県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。
11 県内図書館等職員対象の個別研修の実施(メニュー数4)	個別研修の実施回数	10回	③12回 ④15回 ⑤10回	10回	10回	10回	○ 県立図書館の基幹業務である市町村図書館等の支援に引き続き取り組む。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

**基本方針3 県民の生涯にわたる学びへの貢献**

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

**重点目標 5 県民の読書環境の整備**

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12 県民の読書環境の整備	入館者数	400,000人	③296,418人 ④297,012人 ⑤315,000人	400,000人	400,000人	400,000人	○ 休館日が増えることや資料費の削減等があるが、目標値はR5目標値の40万人を目指す。
	個人貸出冊数	450,000冊	③457,894冊 ④435,724冊 ⑤414,000冊	415,000冊	416,000冊	417,000冊	○ 子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
	電子書籍閲覧回数		27,000回 ※令和5年7月サービス開始	36,000回	36,000回	36,000回	○ 非来館型サービス充実のため、PRに努めて利用増を目指す。コンテンツ数の大幅な増加が見込めないことから、目標値は現状維持とする。
	県内の読書バリアフリー環境の充実						
13 県民の調査研究活動の支援	レファレンス協同DB登録件数	40件	③32件 ④40件 ⑤40件	40件	40件	40件	○ 郷土に関するテーマや県民の役に立つもの、汎用性があり調査研究活動を支援すると思われる事例を選定して登録していることから、目標値は現状維持とする。
14 読書による子育て応援	絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数		78,000冊	79,000冊	80,000冊	81,000冊	○ 子育て応援の取り組みを進めることにより、利用増を目指す。
15 SNSによる情報発信	SNSの投稿回数	120回	③65回 ④124回 ⑤136回	120回	120回	120回	○ 若年層にも図書館や読書に関心を持ってもらえるように、お勧め本の紹介や周辺景観の話題等も合わせて積極的に発信していく。

**重点目標 6 県立図書館職員の能力の育成**

具体的取組	指標	R5目標値	実績	目標値			目標値設定の考え方
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
16 職員の研修機会の充実	外部講師による研修の参加回数	40回	③49回 ④42回 ⑤43回	40回	40回	40回	○ 県立図書館職員のスキルアップが市町村図書館等支援の充実にもつながるため、司書職員全員が研修に参加できるよう環境を整備して取り組む。目標値は、司書正職員一人当たり2回以上研修に参加する回数を設定し、これを維持していく。
	職員が講師を務める館内研修の実施回数		2回	4回	4回	4回	○ それぞれの職員が、担当する業務などで得た知識について発表し、共有することで県立図書館職員のスキルアップを図る。目標値は4回(四半期に1回)とし、これを維持していく。

※③令和3年度④令和4年度⑤令和5年度

# 令和6年度新潟県立図書館運営基本方針 重点目標に係る取組状況(中間報告)

資料 4

## 基本方針1 地域社会への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目	具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	中間振り返 (4~7月実績)	達成率	最終評価 (3月31日)	自己評価	総合評価	協議意見
県の行政施策と連携した取組	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	・県各部署への周知 ・展示の実施	県立図書館を利用した所属数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ギャラリー展示は一般県民の利用とのバランスも図りながら、行政連携の充実に向けて引き続き各部署等へのPRに取り組んでいく。</li> <li>&lt;実績・予定&gt;</li> <li>4月 観光文化スポーツ部文化課「新潟出版文化賞受賞作品展」</li> <li>7月 土木部道路建設課「にいがた「道」フォトコンテスト作品展」</li> <li>7月 土木部河川管理課「7.13水害20年プロジェクト巡回パネル展」</li> <li>11月 農林水産部林政課「にいがたフォレストリーマガジン写真展」</li> <li>12月 環境局資源循環推進課「海洋プラスチックごみ」削減パネル展</li> </ul>	20所属 内訳： ・ギャラリー展示3所属 (前年度同期1所属 対前年度比300%) ・図書コーナー設置8所属 (前年度同期9所属 対前年度比89%) ・図書貸出9所属 (前年度同期9所属 対前年度比100%) ※重複除く	63%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度後半も行政連携展示のPRに取り組むとともに、図書館所蔵貴重資料等の展示も開催し、ギャラリー展示の充実につなげる。</li> <li>○ ギャラリー展示に関連したテーマ展示の実施</li> </ul>		
	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置	・県各部署への周知 ・展示の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県施策に関する図書のPR展示について、県職員専用ポータルサイトで利用の呼びかけを行っている。申込があった所属に対しては展示に関する要望をできる限り聞き取り、設置後は展示の様子を撮影した写真や利用状況を共有することで、実施の意義を感じてもらえるよう取り組んでいる。</li> <li>&lt;実績・予定&gt;</li> <li>4月 文化課、新潟県発達障がい者支援センターRISE</li> <li>5月 環境対策課・愛鳥センター紫雲寺さえずりの里、県立歴史博物館</li> <li>6月 健康づくり支援課、生活衛生課、防災企画課</li> <li>7月 県立万代島美術館、防災企画課</li> <li>8月 観光企画課、県立歴史博物館、県民生活課</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県職員専用ポータルサイトでの呼びかけにより、半年先の予約が入るなど多くの所属が利用している。連携した所属の担当者からは「素敵な展示コーナーを作っていただき、ありがとうございます！お願いして良かったです。」とのコメントもあった。</li> <li>○ 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録の際、県立歴史博物館の企画展と連携しタイムリーな展示を実施した。下半期も県の行政施策への県民の理解を深められるよう、幅広い部局と連携していく。</li> </ul>		
	県所属への図書貸出の実施	・県庁貸出の手続改善 ・県各部署への周知		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県職員専用ポータルサイトで利用の呼びかけを行うとともに、依頼者の手間を削減するために本年度より下記の運用改善を実施した。</li> <li>・指定の書式を使用せずとも申込ができるように運用を改定</li> <li>・資料受け取り時のメールのプリントアウトの提示を廃止</li> <li>○ 県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の充実を目指し、更なる運用改善を図っていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎年利用をする所属があり、少しずつではあるがサービスも定着してきていると感じている。利用した県職員のロコミにも期待したい。</li> <li>○ まだ図書館側では把握できていない他部署職員のレファレンスへのニーズを認識したことから、今後は貸出だけでなく「レファレンスサービス」もPRしていきたい。</li> </ul>		
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集と活用	・出版情報の多角的な把握 ・積極的収集と展示 ・書庫等の保存環境の整備 ・行政資料の収集・展示		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出版情報の収集から資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んでいる。</li> <li>○ 閲覧室内で毎月テーマを変えながら資料展示を行っていたが、1月の地震以降、書架が転倒する可能性があったため中断していた。7月に展示場所を移動し転倒防止を施した上で、「佐渡の金山」をテーマに再開した。今後は文書館との連携展示や、利用者の興味を引くテーマで展示を行い、郷土資料のPRに努めていく。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務の効率化が奏功し、迅速な受入が実現したことにより、受入数は昨年同期比で約10%増加した。</li> <li>○ 引き続き出版情報の収集に力を入れ、より多くの郷土資料を提供できるよう努める。</li> </ul>		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	・デジタル資料の追加 ・利用環境の整備 ・利用者へのPR	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	23,500件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルライブラリーのトップ画面でデジタル化資料を様々な切り口で紹介しPRに努めるとともに、更新の都度、ホームページやSNSで情報発信を行っている。</li> <li>○ 7月には、新潟市内商業施設で県庁PRの一環として、ポスターを掲示した。今後は県庁のポータルサイトも活用し新規利用者の獲得を図っていく。</li> </ul>	7,456件 (前年度同期8,395件 対前年度比89%)	32%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アクセス件数は昨年同期比で約10%減少しているが、昨年度新たに登録した資料をはじめとしたデジタル化資料の魅力を伝える機会を設けて、目標の達成を目指す。</li> </ul>		
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	・データの登録 ・県民へのPR	郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス件数	12,600件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度から「としょかん探偵〜データベース活用事例〜」のページを新設し、土田麦僊など、県内の馴染みのある人物・テーマに関する調べ方を掲載し、ニーズの掘り起こしを試みている。</li> <li>○ 本年度もページの更新に加え、採録対象雑誌を追加し、データベースの充実に取り組んでいる。</li> </ul>	4,053件 (前年度同期4,572件 対前年度比89%)	32%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データの追加時にSNS等で広報しているが、昨年同期と比較してアクセス件数は横ばいである。</li> <li>○ 郷土に関する調査・研究に役立ち、かつ目的の資料を効率よく検索できるデータベースの利点を活用事例等を通じ今後とも周知に努める。</li> </ul>		

基本方針2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	中間振り返 (4~7月実績)	達成率	最終 (3月31日)	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等の貸出サービスへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのPR</li> <li>小規模図書館等へのセット図書の貸出</li> <li>テーマ別セット図書の貸出</li> </ul>	県内図書館等への協力貸出冊数	13,000冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の制度での協力貸出やセット図書長期一括貸出に加え、市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行っている。</li> <li>電子書籍サービスの体験会では、基本的な図書館サービスを説明する機会も多いことから、県民に対して相互貸借等のサービスについても、積極的にPRを行っている。</li> </ul>	5,560冊 (前年度同期4,465冊 対前年度比125%)	43%		<ul style="list-style-type: none"> <li>セット図書長期一括貸出の申込が増加したこともあり、前年度比実績では増加している。今後も機会をとらえて県立図書館の資料が各市町村の図書館に無料で取り寄せができることをPRし、周知を図っていききたい。</li> <li>市町村図書館に対しては、他館での活用例を示すことなどによってテーマ別セット図書貸出サービスの利用増を図り、支援につなげていきたい。</li> </ul>		
	県内図書館等からの相談対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容に応じた適切な情報提供</li> <li>相談・打合せなど、様々な機会を捉えた訪問の実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>県内図書館等からの相談や照会について随時対応し、状況に応じて支援や情報提供を行っている。</li> <li>【電話等による相談・照会等対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設での読み聞かせ実演に係る著作権</li> <li>県内の広域連携サービスの状況</li> <li>逐次刊行物の複写の運用等</li> </ul> </li> <li>【訪問相談実施】 <ul style="list-style-type: none"> <li>弥彦村図書館、十日町図書館、長岡市立中央図書館</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>下半期も相談内容に応じた適切な情報提供に努めるとともに、機会を捉えて各館を訪問するなどして、市町村支援の充実を図っていく。</li> </ul>		
	高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校への訪問相談</li> <li>協力貸出の推進</li> </ul>	高等学校図書館への協力貸出冊数	500冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>所在する自治体の公立図書館等が移転などで長期休館になり、窓口での資料受け取りができない県立学校について、該当する自治体図書館の休館前後期間限定で資料を学校へ直接送付する運用を新たに開始した。</li> </ul>	865冊 (前年度同期247冊 対前年度比350%)	173%		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に協力貸出を利用する学校が増え、活用方法も多岐にわたっている。ただし利用するかどうかは学校図書館司書の裁量次第であり、また新潟市外の学校の場合、受取可能な市町村立図書館等から離れた学校の利用はほぼない状態である。今後、未利用学校への利用を促す方法を検討していく。</li> </ul>		
県内図書館等職員の人材育成	県内図書館等職員対象の全体研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館現場のニーズに沿ったテーマの設定</li> <li>階層別研修等の実施</li> <li>オンラインとの併用</li> </ul>	全体研修会・研究集会の参加人数	350人	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任職員研修会はより多くの参加が得られるよう集合・オンラインの併用で開催した。児童部門研究集会は、研修効果を高めるため講師との調整により集合型で開催した。</li> <li>&lt;実績&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>①障害者サービス研修 (第1回) (オンライン) 50人</li> <li>②新潟県公共図書館新任職員研修会 69人 (1日目・会場20人、オンライン15人) (2日目・会場20人、オンライン14人)</li> <li>③新潟県公共図書館児童部門研究集会 41人</li> </ul> </li> </ul>	160人 (前年度同期162人 対前年度比99%)	46%		<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館現場のニーズに沿った研修テーマや内容により、一層の研修効果が得られるよう調整し、県内図書館サービスの充実に繋げていきたい。</li> </ul>		
	県内図書館等職員対象の個別研修の実施 (メニュー数4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者アンケートの実施</li> <li>研修内容の改善</li> </ul>	個別研修の実施回数	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>各館の要望を踏まえて研修を準備・実施し、各館のサービス向上を支援している。</li> <li>&lt;実績・予定&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>①資料の修理や保存の基礎 (新潟市立黒埼図書館)</li> <li>②資料の修理や保存の基礎 (刈羽村立図書館)</li> <li>③郷土レファレンス (新潟県埋蔵文化財センター) 以上7月までに実施</li> <li>④燕市教職員研修・図書館担当者研修 (燕市立吉田公民館) 8月以降予定</li> <li>⑤郷土レファレンス (長岡市立互尊文庫)</li> <li>⑥郷土レファレンス (新発田市立歴史図書館)</li> <li>⑦地域資料の収集と管理の基礎 (弥彦村図書館)</li> <li>⑧郷土レファレンス (南魚沼市図書館)</li> <li>⑨地域資料の収集と管理の基礎 (新発田市立中央図書館)</li> </ul> </li> </ul>	3回 (前年度同期2回 対前年度比150%)	30%		<ul style="list-style-type: none"> <li>研修受講者アンケートや市町村との意見交換等での要望を踏まえて、下半期も引き続き充実した研修を実施できるよう取り組んでいく。</li> </ul>		

基本方針3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目	具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	中間振り返 (4~7月実績)	達成率	最終 (3月31日)	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいレイアウト変更等</li> <li>・資料の充実</li> <li>・電子書籍サービスの充実</li> <li>・読書バリアフリー環境の充実</li> </ul>	入館者数	400,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度もSNSでの情報発信の更新頻度を上げるとともに、電子書籍サービスの利用をきっかけに直接来館利用にも繋がるように、体験会では図書館サービスについて広く説明を行っている。</li> <li>○ 利用者満足度の向上のために、館内利用環境の整備を図りながら、目標の達成を目指している。</li> </ul>	101,114人 (前年度同期101,605人 対前年度比99.6%)	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 維持管理費予算削減対策として休館日を増やしたこともあり、入館者数は順調とはいえない状況である。</li> <li>○ 基本的なサービスに加えて電子書籍サービスやコロナ以降控えていた連携イベント、ギャラリーや閲覧室での展示等もPRすることで、目標達成を目指して取り組んでいきたい。</li> </ul>		
		個人貸出冊数	415,000冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料費が年々削減されているが、今年度も限られた予算の中から引き続き効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や県各所属との連携展示を積極的に行い、資料の利用促進を図る。</li> <li>○ 能登半島地震の影響で従来の展示スペースが一部使用できなくなっている箇所があるが、書架内展示や資料の見せ方の工夫などを実施して、魅力ある棚づくりに努める。</li> </ul>	127,326冊 (前年度同期138,549冊 対前年度比92%)	31%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料収集方針に沿って、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに展示等による資料のPRを行っているが、資料費削減の影響が大きい。</li> <li>○ 今後も展示のテーマや見せ方をより工夫して所蔵資料の有効活用を図るなど、目標達成を目指して取り組んでいきたい。</li> </ul>		
		電子書籍閲覧回数	36,000回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度に引き続き、県内各所で県民向けの体験会を開催している。主に市町村図書館を会場に開催しているが、7月にはサービス開始1周年記念として紀伊國屋書店新潟店で体験会を実施した。他にも新潟市内商業施設で県庁PRの一環として広報するなど、普段図書館を利用しない県民への広報に力を入れている。また、図書館職員対象の会議や研修会の際にもPRを行っている。</li> <li>○ 県立学校に向けたサービスも昨年同様に実施しており、今年度は私立高等学校に対しても、学校向け電子書籍サービスの提供を開始した。</li> <li>○ 既存のコンテンツの発信を目的として、3ヶ月に1度の頻度でトップページの本棚のテーマを変更している。</li> </ul>	7,491回 (前年度同期4,849回 対前年度比154%) ※7月11日よりサービス開始	21%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 閲覧数が減少傾向にあり、利用頻度の向上や利用者層の拡大に力を入れる必要があると考える。</li> <li>○ 学校向けのサービスについては、ID追加発行依頼が県立学校から4校、私立学校から2校あった。館外に出てPRをすることが効果的であると実感したため、今後も関係機関等に協力を仰ぎ、継続的にPRを続けて普及をしていく。認知度の向上を図りつつ、利用登録済みの来館者へのアプローチを館内でも実施する。</li> <li>○ 本棚のテーマ入替以外の手段でも既存コンテンツの魅力発信を行っていく。</li> </ul>		
		県内の読書バリアフリー環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県視覚障害者情報センターと連携して視覚障害者サービス研修(市町村図書館職員向け研修)を行い、県内図書館における視覚障害者サービスのボトムアップを図っている。</li> <li>○ 読み上げや白黒反転表示等のバリアフリー機能を持つ電子書籍や大活字本、LLブック、触る絵本等の障害者サービス用資料の充実を図っている。</li> <li>○ 電子書籍の体験会では、サビエのPRもあわせて行っている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対面朗読サービスがコンスタントに利用されており、今後も広報を続けて普及を図っていく。</li> <li>○ 視覚障害のない児童が、触る絵本を借りて行くような状況も生まれており、障害者サービスへの理解・普及のためにも、引き続き資料を充実させていきたい。</li> </ul>		
県民の調査研究活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査相談 (レファレンス) 機能の向上</li> <li>・県民へのPR</li> </ul>	レファレンス協同データベースの登録件数	40件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者から寄せられた調査相談内容から、主に郷土に関するテーマなど、県民の調査研究活動を支援すると思われる事例や関心が高いと思われる事例を選定して登録をするため、事例を精査している。今年度も調べ方マニュアルを登録する予定である。</li> </ul>	0件 (前年度同期0件)	0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スケジュール通りに作業を進めており、現在は登録事例を選定しつつデータを作成している。9月以降、順次登録作業に着手していく予定である。</li> </ul>		
読書による子育て応援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども向けイベントの実施</li> <li>・利用環境の整備</li> </ul>	絵本、児童書、紙芝居の貸出冊数	79,000冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 能登半島地震で児童書架が転倒し、昨年度は絵本の一部が直接提供できない時期が続いたが、今年度に向けて書架を新設した。また、書架のレイアウトや赤ちゃん向け絵本のコーナー等を見直して改善した。</li> <li>○ 定例の読み聞かせイベントの継続実施に加えて、ボランティアによる読み聞かせイベントは昨年度よりも頻度を上げて開催している。</li> <li>○ イベントのほかに、七夕の笹飾りを数年ぶりに設置するなど、こどもたちにとって訪れたいような空間になるよう工夫をしている。</li> <li>○ 日々の書架整理や新着資料の速やかな配架など、資料提供の基礎的な部分を確実に実施したうえで、読み聞かせイベントなど場としてのサービスの充実にも力を入れていく。</li> </ul>	23,212冊 (前年度同期25,542冊 対前年度比91%)	29%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貸出冊数が減少傾向にあるが、書架の入替により外国絵本の開架収蔵冊数が3分の2程度になったことが一因として考えられる。書架構成の見直しやテーマ展示等の実施により貸出冊数の回復につなげたい。</li> <li>○ マットを設置した新設の赤ちゃん絵本コーナーは好評である。定例の読み聞かせイベントとボランティアの読み聞かせイベントは共に参加者が増えている。</li> <li>○ 各イベントのさらなる定着を目指し、ボランティアと協働して魅力的なプログラム作りや広報に努める。</li> </ul>		
SNSによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿内容の充実</li> <li>・効果的な情報発信</li> </ul>	SNSの投稿回数	120回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNSの特性を活かした投稿により、フォロワーの増加や県内図書館のフォローによる情報の周知・拡散に取り組む。</li> </ul>	28回 (前年度同期41回 対前年度比68%)	23%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イベント情報や電子書籍サービスのPRをSNSを活用して発信するなど、若年層向けの情報発信に取り組んでいく。</li> </ul>		

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	中間振返（4～7月実績）	達成率	最終（3月31日）	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員 の能力の育成	職員の研修機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加しやすい環境の整備</li> <li>・研修成果の共有と自己研鑽</li> </ul>	外部講師による研修の参加回数	40回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オンライン研修を活用するなど受講機会の確保を図り、実績向上を図った。</li> <li>＜実績・予定＞</li> <li>・「伝わる広報」研修 1名</li> <li>・第2回にいがたPPP/PFI研究フォーラム 1名</li> <li>・2024年度サビエ研修会（オンライン） 1名</li> <li>・障害者サービス担当職員養成講座（入門）（オンライン） 1名</li> <li>・関東地区公共図書館協議会研究発表大会（集合、オンライン） 4名</li> <li>・新潟県公共図書館児童部門研究集会 1名</li> <li>・こども読書レベルアップ研修会 理論・知識編（オンライン） 1名</li> <li>・多様な地域資料の『教材化』ワークショップ（オンライン） 2名</li> <li>・特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」（オンデマンド） 2名</li> <li>・こども読書レベルアップ研修会 実践・演習編 1名</li> </ul>	12回 （前年度同期18回 対前年度比67%）	30%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下半期も全国規模の研修・会議等へオンラインを活用して参加するなど、機会を確保して司書職員の能力向上に繋げていく。</li> <li>＜参加予定の研修＞</li> <li>・全国図書館大会</li> <li>・図書館地区別研修</li> <li>・全公図サービス総合・経営部門研究集会</li> <li>・図書館総合展フォーラム ほか</li> </ul>		
			職員が講師を務める館内研修の実施回数	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修テーマの希望を司書職員から聴取し、テーマと講師を決定した。</li> <li>○ 下半期に「レファレンス研修」「障害者サービス研修」「図書修理研修」「郷土資料研修」を実施する。</li> </ul>	0回 （前年度同期 1回）	0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上半期は研修内容の検討や日程調整を行った。9月以降、職員が講師を務める研修を実施し、図書館業務に関する知識やスキルを高め、図書館サービスの向上につなげる。</li> </ul>		